

(仮称)あかしインクルーシブ条例の検討状況について

本市が目指す「誰一人取り残さないやさしいまちづくり」に向けた、包括的指針となる表記条例については、コロナ禍の状況を踏まえ、より慎重かつ丁寧に検討を進めるため、来年度の条例提案を予定しています。

今年度につきましては、検討委員が集合する条例検討会の開催に代えて、検討委員と事務局による個別の意見交換を行いましたので、ご報告いたします。

また、当事者参画のモデル事業などその他取組について、あわせてご報告いたします。

1. 条例検討委員との個別意見交換

- (1) 実施日：10/23～12/8、2/1（※2/1は座長・部会長等）
- (2) 実施方法：訪問来庁＝13名、ZOOM＝11名
- (3) 議題内容：コロナ禍の影響と条例案への反映、当事者参画制度など市の取組
- (4) 主な意見：別添 **資料1** のとおり

ご意見（抜粋）と反映の方向性

- コロナのような想定外の事態による新たな差別を許さない市の決意を示すべき。
 - ➡条例前文で決意を示すとともに、条例内で「インクルーシブ社会＝不当に差別されない社会」である旨を定義する。
- 災害時の要配慮者支援について、「災害」に限定すれば法的に災害ではないコロナなどは支援の対象外になるのではないか。
 - ➡災害時の要配慮者支援の条文に「災害と同程度の市民の安全が脅かされる場合も、その事態の特性に応じて適切に対応する旨」を追記検討する。
- インクルーシブの理念が一般の人にはまだわかりにくい。
 - ➡条例名を「誰も取り残さないインクルーシブなまちづくり条例」とするなど、「インクルーシブ」を残しつつ、前後に言葉を補う案を検討する。
 - ➡条文に加え、逐条解説や取組事例などを示したパンフレットなど、わかりやすい資料を作成し、継続的に啓発活動を行う。
- 条例が障害者だけのものだと誤解されないようにしてほしい。
 - ➡健常者が骨折した場合や、離婚してひとり親になった場合など、誰もが条例の対象で支援の対象となりうる旨をしっかりと示すことを検討。

2. 条例策定スケジュール

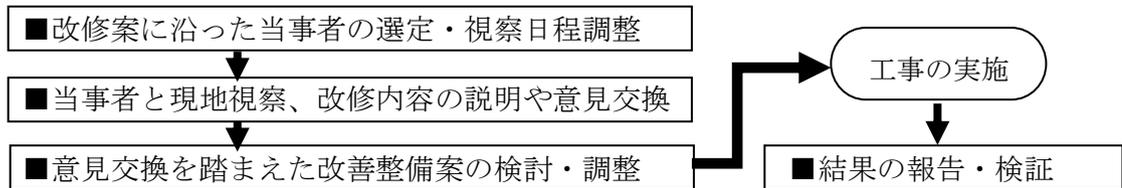
時期	取組項目	概要
2021年度 8月	条例案への反映	条例案や逐条解説、啓発資料の作成
8～10月	条例検討会（最終）	条例案の決定
9～12月	■議会報告	条例案の報告
10～1月	パブリックコメント	市民意見聴取（1ヶ月程度）
12～3月	■議会提案	条例議案の提案
2022年度 4月	条例施行（予定）	

3. (仮称)ユニバーサルアドバイザー制度のモデル実施

(1) 制度の概要

施設整備や研修等の実施にあたり、検討段階から複数の障害等当事者と一緒に現地視察や対話を行うことで、当事者目線に立った使いやすく効果的な施設改修や制度の設計を目指す制度。2020年度はモデル的に2件実施。

【制度利用のイメージ（工事の場合）】



<p>①魚の棚商店街「魚の駅トイレ」の改修</p> <p>参画：学識2名、車椅子ユーザー4名</p> <p>改善：トイレ蓋の撤去 便器位置を中央から壁側に変更 オストメイト・折り畳みベッドの新設</p>	<p>② 貴崎1号緑地のスロープ等設置</p> <p>参画：車椅子ユーザー2名</p> <p>改善：スロープ設置場所や傾斜の確認 固定椅子の撤去・植栽の撤去 (車椅子進入路の確保)</p>

(2) 課題や今後の方針など

- 感染症対策として、現地視察人数を最小限に抑え、現地視察しない人には写真等で説明し、メール・電話で意見聴取をおこなった。
- 障害当事者からは、写真等では知りたい情報の不足や確認ポイントが漏れることもあるので、リアルタイムで現地確認や質疑応答ができる ZOOM の活用など、意見交換の質を高める工夫が必要との意見があった。
- 持続的な制度を目指し、2021年度もモデル事業を継続するとともに、IT機器の活用の仕方や、制度を利用した取組への補助金などインセンティブも検討する。

4. ユニバーサルデザインのまちづくりの取組

(1) 取組の概要

本市では、誰もが安全で安心して移動できるように、駅舎のバリアフリー化をはじめ、ホームドアの整備、あかし案内所の設置などユニバーサルデザインのまちづくりに取り組んでいます。

今年度は、まち歩きなどで障害当事者に参画いただきながら策定した「ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画（2019.3）」に基づき、国や警察をはじめ交通事業者の協力を得ながら、バリア解消に取り組んでいます。

① 休憩用ベンチの設置（4ヶ所）



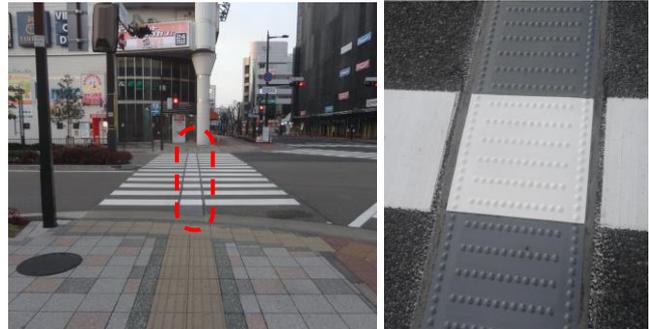
② シェルター屋根の改修（1ヶ所）



③ エンバーサルデザインタクシー導入補助（8台）



④ エスコートゾーンの設置（2ヶ所）



※ 視覚障害者も安全に道路横断できるように、横断歩道上に突起体を設置したものを

(参考) 明石駅周辺の整備位置

